

別添資料集

別添1 家庭復帰の適否判断のチェックリスト・・・p1～2

* 新(p1)、旧(p2)

別添2 アセスメントシート・・・・・・・・・・・・p3～5

別添3 個別ケース検討会議シート・・・・・・・・・・・・p6～8

* 新(p6)、旧(p7～8)

別添4 リスクアセスメントシート・・・・・・・・・・・・p9

旧 家庭復帰の適否を判断するためのチェックリスト

氏名 () 記入日 (平成 年 月 日)

Table with columns for 'チェックの視点', 'チェック項目', and response options (はい, ややはい, ややいいえ, いいえ, 不明). Rows include categories like '経過', '子ども', '保護者', '家庭環境', and '地域'.

旧 家庭復帰の適否を判断するためのチェックリスト

氏名 () 再統合対象者 () 記入日 (平成 年 月 日)

Table with columns for 'チェックの視点', 'チェック項目', and response options (はい, ややはい, ややいいえ, いいえ, 不明). Rows include categories like '経過', '子ども', '保護者', '家庭環境', and '地域'.

【アセスメントシート：乳幼児用（3歳未満）】 児童氏名 _____ 年 月 日受理

・通告または他機関から聴取した、もしくは直接確認した情報に基き、該当するものには右欄に○を、未確認情報のレベルには△をつける。該当しない場合は、-を記入する。不明の場合は、空白とする。
 ・変化があった場合には再度活用し、直ちに上司に報告し対応を協議する。

1. 状況確認・安全確認の必要性

	① ②		年	年	
	年	年			
市町村児童家庭相談担当職員が児童に会っていない。			/	/	1
子どもの状態を誰も確認できていない。					2
子ども・家族の所在・状態が不明					3
入手した情報だけでは子どもの安全性まで確認できたとならない。					4
養育者が接触を拒んでいる。					5
過去にも虐待歴があり、直接の安全確認が必要					6

2. 虐待のリスク要因

該当項目を○で囲む。

※これらの要因は、虐待のリスク要因として、周産期及び子どもの状況を具体的に調査していくことが重要

	① ②		年	年	
	年	年			
妊娠・出産状況 望まない妊娠 未受診 若年出産 孤立した出産 多胎児 低出生体重児					7
健診等 健診を未受診 予防接種(未接種・ほとんど未接種)					8
身体的状況 先天性疾患 慢性疾患 身体障がい					9
発育状況(身長・体重) -2SD以下または50%タイル以上の低下					10
発達状況 知的障がい 発達障がい					11
子どもの状況 よく泣く 食事むらがある(家食・拒食) 嘔吐 多動 なつかない 無表情 保護者にとって育てにくさがある 等					12

3. 子どもの状態 (身体的虐待・ネグレクト・性的虐待・心理的虐待)

特Aランク：【最重度】生命の危機が「ありうる」「危惧する」もの。即刻入院加療が必要な疾病・外傷がある。親子心中等

※迅速な調査を行い、子どもの安全確保(一時保護)を最優先に、緊急対応の検討が必要

該当項目を○で囲む。

	① ②		年	年	
	年	年			
身体的	頭部外傷 - 骨折、硬膜下出血、クモ膜下出血、眼底出血、皮下出血、皮内出血 等				13
	腹部外傷 - 内臓損傷、皮下出血、皮内出血 等				14
	頭部、腹部以外の骨折・裂傷・打撲傷、目の外傷がある。				15
	熱湯や熱源による火傷、熱傷痕がある。				16
	顔面・頭部への強い攻撃、乳児を強く揺する。				17
	腹部を蹴る、踏みつける、殴る。				18
	重篤な外傷のおそれがある行為 - 逆さ吊り、乳幼児を投げる 等				19
	窒息の危険 - 首を絞める。水につける。布団蒸しにする。鼻と口を塞ぐ。口に物を詰める。				20
	養育者が親子心中を考えている。				21
	閉じ込められる。(押入れに閉じ込められる。箱状のものに閉じ込められる。一室に閉じ込められ関わりがない。紐等でくくりつけられる等行動を拘束される。)				22
ネグレクト	代理ミュンヒハウゼン症候群の疑いがあり、生命の危険が「ありうる」「危惧する。」もの(症状の捏造)				23
	不適切な薬物投与により、生命の危険が「ありうる」「危惧する。」もの				24
	脱水症状、栄養不足のため衰弱がおきている。				25
	感染症や下痢等、健康管理上必要な医療を受けさせてもらえない。または重度慢性疾患があるのに医療受診なく放置されている。				26
	生活環境不良や監護が不十分のために成長障がい顕著である。(低身長、身長に比しての低体重 等)				27
	生活に不可欠な食事・衣類・住居が保障されていない。(ライフラインが止まるのも含む。)				28
	養育者が児童を置いて不在になることがある。				29
	性的 性行為やわいせつ行為を受けた、または受けた疑いがある。性感染症、性器・肛門周辺の外傷				30

Aランク：【重度】今すぐには生命の危険はないと考えるが、子どもの健康や成長・発達に重大な影響が出ている。

医療を必要とする外傷がある又は近い過去にあったもの 等

※迅速な調査により、子どもの安全の確認が必要。安全確保の必要性を状況に応じて判断する。
 ※安全確保の必要性が判断されれば、最重度同様の対応となる。在宅モニタリングの判断となれば、関係機関との連携により、指導・安全確認の視点・見守りのポイントを明らかにして在宅モニタリングの体制を整える。

該当項目を○で囲む。

	① ②		年	年		
	年	年				
身体的	医療を必要としないが、打撲傷・傷痕(タバコ等)がある。				31	
	代理ミュンヒハウゼン症候群の疑いがある(症状の捏造) ※子どもの身体的状況により最重度にする。				32	
	不適切な薬物投与がある。 ※子どもの身体的状況により最重度にする。				33	
ネグレクト	養育者の監護が不十分のため、転んだり、ぶつけたりのケガが多い。				34	
	生活環境や育児条件が不良で、事態の改善が望めない。					
	十分な身体的ケアや情緒ケアを受けていない。(発育段階に応じた食事が与えられていない。衣服が替えられていない。入浴しない等不潔な状況が続き、皮膚疾患等の問題がある。放置され髪を形成する関わりがないため、無表情・視線があわない。笑わない等がみられる。)					35
	極めて不衛生、物の散乱、大量のゴミや危険物(薬物・ガラス・タバコ等)だらけの家の状態。虫の発生や異臭がひどい。					36
	夜間や昼間に長時間外に出されている、又は子どもが出て行っても養育者が放置している。				37	
性的 性行為・性的な映像・写真等を見せる等されている。					38	
心理的	激しい叱責や脅しのため子どもが、無表情・委縮・服従・暴力的な行動、食事や排便等に影響がある等、情緒的な問題が顕著である。				39	
	夫婦間の激しいDVや喧嘩に終始されている。保護者の自殺企図、自傷に度々さらされている。					40

Bランク：【中度】今は入院を要するほどの外傷や栄養障がいはないが、長期的にみると人格形成に問題を残すことが危惧される。養育環境の不適切さがあり、安全や成長に影響がある。

※子どもの安全確認ができていれば、関係機関の連携などにより指導・在宅モニタリング体制を整える。

該当項目を○で囲む。

	① ②		年	年	
	年	年			
身体的	外傷が残らない程度の暴力、あるいは単発の小さくわずかなケガ				41
	過度あるいは偏ったしつけ、教育(子どもの発達を理解してないしつけ、暴力容認のしつけ・教育論など)				42
	代理ミュンヒハウゼン症候群の疑いがある。(症状の捏造) ※子どもの身体的症状により重度にする。				43
	不適切な薬物投与がある。 ※子どもの身体的状況により重度にする。				44
ネグレ	子どもに健康問題をおこすほどではないネグレクト				45
	知的障がい・発達障がい顕著であるのに適切な療育を受けさせてもらえない。(障がい受容の拒否も含む)				46
心理的	無視、けなし、暴言、乱暴な扱い、叱責などの不適切な関わりがある。				47
	きょうだい間の極端な差別がある。				48
	父母間でDVがある。				49

Cランク：【軽度】実際に子どもへの暴力や養育に対する拒否感があり、加害者本人や周囲の者が虐待と感じているが、衝動コントロールが一定できる。まだ、親子関係には重篤な病理がない。

※子どもが確認されていれば、虐待者の援助体制(相談窓口・サービス利用)を整える。

	① ②		年	年	
	年	年			
身体的	養育者が虐待をしまいそうという不安を訴える。				
	暴力を振るってしまいそう(身体的虐待)				50
ネグレ	拒否感の訴え(ネグレクト)				51

特記事項

【記入者氏名】

決裁者

印

【アセスメントシート：児童用（3歳以上）】 児童氏名 年 月 日受理

・通告または他機関から聴取した、もしくは直接確認した情報に基づき、該当するものに右欄には○を、未確認情報のレベルには△をつける。該当しない場合は、-を記入する。不明の場合は、空白とする。
・変化があった場合には再度活用し、直ちに上司に報告し対応を協議する。

1. 状況確認・安全確認の必要性

※速やかに状況確認・安全確認の方法について検討する。

Table with 3 columns: Description, ① (年), ② (年). Rows include: 市町村児童家庭相談担当職員が児童に会っていない, 子どもの状態を誰も確認できていない, etc.

2. 虐待のリスク要因

※これらの要因は、虐待のリスク要因として、周産期及び子どもの状況を具体的に調査していくことが重要

Table with 3 columns: Risk Factor, ①, ②. Rows include: 妊娠・出産状況, 身体的状況, 発達状況, 情緒・行動の状態, etc.

3. 子どもの状態（身体的虐待・ネグレクト・性的虐待・心理的虐待）

特Aランク：【最重度】生命の危機が「ありうる」「危惧する」もの。即刻入院加療が必要な疾病・外傷がある。親子心中等

※迅速な調査を行い、子どもの安全確保（一時保護）を最優先に、緊急対応の検討が必要

Table with 3 columns: Description, ①, ②. Rows include: 頭部外傷 - 骨折、硬膜下出血、クモ膜下出血、眼底出血、皮下出血、皮内出血等, 腹部外傷 - 内臓損傷、皮下出血、皮内出血等, etc.

Aランク：【重度】今すぐには生命の危険はないと考えるが、子どもの健康や成長・発達に重大な影響が出ている。

医療を必要とする外傷がある又は近い過去にあったもの等
※迅速な調査により、子どもの安全の確認が必要。安全確保の必要性を状況に応じて判断する。
※安全確保の必要性が判断されれば、最重度同様の対応となる。在宅モニタリングの判断となれば、関係機関との連携により、指導・安全確認の視点・見守りのポイントを明らかにして在宅モニタリングの体制を整える。

Table with 3 columns: Category, Description, ①, ②. Rows include: 身体的 (頭部・腹部以外の骨折・裂傷・打撲傷、目の外傷がある), ネグレクト (代理ミュンヒハウゼン症候群の疑いがある), 性的 (性行為・性的な映像・写真等を見せる等されている), 心理的 (激しい叱責や脅しのため子どもが、無表情・委縮・服従・暴力的な行動、食事や排便等に影響がある等、情緒的な問題が顕著である)。

Bランク：【中度】今は入院を要するほどの外傷や栄養障がいはないが、長期的にみると人格形成に問題を残すことが危惧される。栄養環境の不適切さがあり、安全や成長に影響がある。

※子どもの安全確認ができていれば、関係機関の連携などにより指導・在宅モニタリング体制を整える。

Table with 3 columns: Category, Description, ①, ②. Rows include: 身体的 (医療を必要とはしないが、打撲痕や傷痕(タバコ等)がある), ネグレクト (養育者の監護が不十分のため、転んだり、ぶついたりケガが多い), 心理的 (無視、けなし、暴言、乱暴な扱い、叱責などの不適切な関わりが継続している)。

Cランク：【軽度】実際に子どもへの暴力や養育に対する拒否感があり、加害者本人や周囲の者が虐待と感じているが、衝動コントロールが一定できる。まだ、親子関係には重篤な病理がない。

※子どもが確認されていれば、虐待者の援助体制（相談窓口・サービス利用）を整える。

Table with 3 columns: Category, Description, ①, ②. Rows include: 身体的 (外傷が残らない程度の暴力、あるいは単発の小さくわずかなケガ), ネグレ (学齢児において養育者が不在になる), 心理的 (無視、けなし、暴言、乱暴な扱い、叱責等の不適切な関わりがある)。

特記事項

【記入者氏名】

決裁者 印

【アセスメントシート：保護者用】

児童氏名

年 月 日 受理

- ・主たる虐待者を「主」の欄に、同居保護者や非加害親は「従」の欄に記載。()には続柄を記載。
- ・保護者や関係者からの聞き取りに基づき、該当するものの右欄に○を、疑いのものには△を記入。
- ・該当しない場合は、-を記入する。不明の場合は、空白とする。

①	②
年	年
/	/
主 従	主 従
() ()	() ()

＜保護者(虐待者・複数有)の状況＞

該当項目を○で囲む。

市町村児童家庭相談担当職員が虐待者と会っていない。					1
精神疾患 及び 精神症状 身体疾患	統合失調症、気分障害(そううつ)、出産後うつ、神経症、自殺企図、自傷、他害、PTSD、 かい離、人格障害()、その他()				2
	※診断等がある場合に○を記載。疑い、もしくは既往歴のある場合は△				
	治療継続中、未治療、治療中断、服薬中				3
障がい	知的障がい、身体障がい、精神障がい、発達障がい ※障がい者手帳を所持している場合は○、所持していない場合(不明を含む) で疑いの場合には△				4
依存症	過去:アルコール、薬物・シンナー、ギャンブル、浪費(買い物)() () 項) 現在:アルコール、薬物・シンナー、ギャンブル、浪費(買い物)() ※診断がある場合以外にも、保護者や関係者からの聞き取りに基づいて○を記載				5
犯罪歴	暴力～殺人、強盗、傷害、暴行、脅迫、公務執行妨害、器物損壊 薬物～シンナー、覚せい剤、薬物 盗み～恐喝、窃盗 経済犯～詐欺、横領 性犯罪～強姦、強制わいせつ、公然わいせつ その他()				6
保護者から 児童に対する 虐待歴	身体的 / ネグレクト / 性的 / 心理的				7
	本児の兄弟姉妹の不審死歴 : ※事件性の有無に関わらず該当すれば記載(明らかな病死は除く。)				8
性格・行動	強迫的 : 本人が不合理と自覚しているが、抑え切れない行為や感情。(例「子どもは、かくあるべきとの強いおmoi。」「子どもは、親の言うとおりにしなければならない。」)				9
	衝動的 : 感情が昂ると自分を抑えられなくなる。行動のコントロールができない。				10
	攻撃・暴力的 : 人や物への暴力。脅しや脅迫的な言動(例「怒らしたら何をするかかわらんぞ。」「夜道は気をつける。」「今度は殺すぞ。」)				11
	暴力の対象 : 家族、家族以外、子ども(特定の子、全員)、()				
	孤立・非社会的 : 日常生活、社会生活上、対人関係がとりにくい。				12
	認知の歪み : その人独自の受け取り方をし、自分勝手な思い込みが強く、自分の考えに執着する。				13
	共感性の欠如 : 相手の気持ちを理解できない、情緒の交流が持てない。				14
子どもへの 感情	拒否 : 子どもとの接触(衣食住の世話、顔を合わせる)を拒む。子どもがかわいくない。望まない出産(例「あの子どもは関係ない。」「あの子どもは関わりたくない。」「顔も見たくない。」「あの子どもがいるだけでうとおしい。」)				15
	無関心 : 子どもに注意を向けない。子どもの成長・発達に関心を示さない。(例「あの子どもはわかりません。」「あの子どもは祖母が面倒みています。」「自分は自分のことで忙しい。」)				16
	執着・支配 : 子ども言動にすべて関与したが。子どもの行動をコントロールしようとする。(例「あの子どもはすべてわかっている。」「あの子どもには自分がいないとダメ。」「ほっとくと自分の好きなことしかしない。」「常に見ておかないと何をするかかわらない。」)				17
	依存 : 子どもといつも一緒にいないと不安になる。親の役割を子どもにさせる。(例「あの子どもがしてくれ。」「あの子どもにまかせている。」「あの子どもにさせている。」「あの子どもがいなくて心配。」「自分がいなくてあの子どもは何もできない。」)				18
	過剰期待 : 子どもの特性を理解せず期待を押し付ける。				19
保護者の 被虐待歴	身/ネ/性/心(親のDV)時期() 項) : 保護者が成育歴で受けた(と表明する)被虐待状況				20
虐待に 対する 認識	しつけ・体罰容認 : 虐待行為(疑い)を認めるが、しつけと称して肯定する。(例「これはしつけでやっていること。」「子どもの(将来の、大きくなったときの)ためにやっている。」)				21
	否定 : 虐待行為(疑い)を認めない、知らない、事故又は子どもの責任と主張する。(例「虐待はしていない。」「叩いているが虐待はしていない。」「わからない。」)				22
	自分の問題を認めない : 自分の考えを変えようとしていない、子どもの問題と主張する。(例「自分の主義で変えるつもりはない。」「自分も叩かれて育ったが、今は感謝している。」「子どもが悪いから子どもが変わる必要がある。」) ※表面上、「叩かないという約束を守っている」と言う場合は△を記載				23
同居保護者の 虐待への 態度・姿勢	同調 : 虐待者の行為を容認し加担する。(例「父(母)の言うとおりに自分もしている。」「父(母)のすることにまちがいはない。」)				24
	黙認 : 虐待者の行為を知っているが止めようとしていない。(例「父(母)の言動をおかしいとは思わない。」「あの人のやることに口は出せない。」)				25
	回避 : 虐待者の行為に気づかないふりをする。見ないふりをする。なかったことにする。(例「気がつかない。」「父(母)とは関係ない。」「今はもう何もいから、虐待はしないといっているから」)				26

＜家庭環境＞

該当項目を○で囲む。

スキル	養育行動	①		②			
		主	従	主	従		
	知識不足 : 養育に必要な知識をもっていない。知ろうとしない。何度も説明しているが理解しない、もしくはできない。自分勝手な思い込みで養育をする。	()	()	()	()	27	
	ケア力の不足 : 授乳や入浴などの基本的ケアができない。もしくは、しようとしていない。	()	()	()	()	28	
関係機 関・ 親族 との 関係	依存 : 依存して生活を送っている。(経済面、心理面、日常生活)	()	()	()	()	29	
	没交流・対立 : 交流がない。または対立している。	()	()	()	()	30	
	過干渉 : 親族から行動に口出しをされる。	()	()	()	()	31	
	アンビバレント : 複雑な感情を抱いている。(依存と対立等)	()	()	()	()	32	
地域社 会との 関係	機関介入拒否 : 電話・訪問等に応じない。接触を拒否する。行政機関への不信(例「なぜ自分のところばかり来るのか。」「他の人もやってる。」「相談しろといわれることがストレス。」「家の中のことだからほっといて。」「自分たちでやれている。」「行政は何もしてくれず自分を責める。」)	()	()	()	()	33	
	接触困難 : 不在(居留守)がちで、連絡がとれない。応答がない。	()	()	()	()	34	
	社会的孤立 : 近隣、友人との交流がない。	()	()	()	()	35	
家庭 状況	夫婦・ 家族関係	不和、DV : 夫婦喧嘩、DV、家庭内別居等夫婦関係の問題が保護者等からの情報で確認できた場合。(例「子どものいるところで夫(妻)が自分を叩く。」「夫(妻)から逃げるために子どもと一緒に家を出た。」)	()	()	()	36	
	ひとり親世帯 : 未婚、離婚、死別 時期() 項) ※評価時点で事実としてマーキング	()	()	()	()	37	
	再婚 : 時期() 項)、再婚時の子ども() 人 ※婚姻関係の存在を確認してマーキング、できなければ内縁でマーキング	()	()	()	()	38	
	内縁関係 : 同居、行き来	()	()	()	()	39	
	妊娠中、出産後間もない状態 : ※評価時点で事実としてマーキング	()	()	()	()	40	
経済問題	失業・不安定就労 : 失業中、もしくは不定期就労、日々雇用労働、求職中、休職など、労働により一定の収入が得られない状態	()	()	()	()	41	
	経済苦、多額の借金 : 生活費、光熱費、家賃などの支払いに困窮している。	()	()	()	()	42	
	生活保護(受給中、廃止) : 申請中の場合は経済苦にマーキング	()	()	()	()	43	
生活環境	不衛生 : 粗大ゴミ、生ゴミなどが室内外に散乱している。臭臭がする。室内でペットを飼っているが放置している。	()	()	()	()	44	
	家事・育児の欠如(食事、家事、洗濯、入浴) :	()	()	()	()	45	
	安全への無配慮 : 危険なものを放置している。子どもだけの状態で放置している。(例「気がつかない。」「知らない間になっていた。」「子どもは部屋で寝ているから見ない。」)	()	()	()	()	46	
	転居 : 転居の繰り返し、突然の転居	()	()	()	()	47	
関係機 関の 受入	社会的 サポート の利用状況	親の治療・子の治療・グループケア・子育て支援サービス 親子教室・保育所・幼稚園・通園施設・学校・学童保育 ショートステイ・一時保育・家事育児支援(ファミリーサポート、ヘルパー) 生活保護・() 年金・手当 等	()	()	()	()	48

特記事項

特記事項の記入欄

【記入者氏名】

決裁者

印

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 新 個別ケース検討会議シート </div>						【作成者】	
						【作成日】	
児童氏名		性別		生年月日	年齢	所属・学年	
住所					連絡先		
	続柄	氏名	年齢	生年月日	職業	その他	
家族構成							
○家族状況・これまでの経過概要							
主訴			内容				
ケース・家族状況の特記			<ジェノグラム・エコマップ>				
日時	<子どもの経過>		<親・家族の経過>		<対応経過>		
○直近の様子							

○ケース(家族)の見立てや課題、問題点						別添3 p6
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 						
○ケース(家族)のストレングス(強み)						
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 						
○協議内容、出された意見						
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 						
○援助方針、各機関の役割						
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 						
○関係機関						
所属	職名・氏名		所属	職名・氏名		
○次回開催日・場所			開催日:	場所:		
所長	専門監	次長	課長	チーフ	担当	

旧

第 1 回

秘

所属・担当者

別添3
p7

開催日	平成 年 月 日					開催場所	
子ども氏名(生年月日・年齢・性別)				所属(未就学・幼保/学校名・年組・担任/校長名)			
住所	電話 ()						
同居家族及び親族	続柄	氏名	生年月日	年齢	職業	その他参考事項	
現状	・子ども						
	・保護者						

出席者	機関名	職名・氏名	機関名	職名・氏名
各機関の役割			
			
			
			
			
その他確認事項			
			
			
			
			
今回確認されたこと	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		

次回開催日	平成 年 月 日
次回開催場所	

秘

所属・担当者名

別添3

p8

第 回

開催日	平成 年 月 日				開催場所	
子ども氏名(生年月日・年齢・性別)				所属(学校名・学年等)		
出席者	関係機関	職名・氏名	関係機関	職名・氏名	関係機関	職名・氏名
現 状	・子ども					
	・保護者					
各機関の役割	----- ----- -----					
前回の確認事項	----- ----- -----					
今回確認されたこと	① ----- -----					
	② ----- -----					
	③ ----- -----					
	④ ----- -----					
	⑤ ----- -----					

次回開催日	平成 年 月 日
次回開催場所	

新

リスクアセスメント シート

(初回・ 回目)

(あくまでも補助的な指標なので、定期的な概況把握や「めやす」として用いること)

Form for new risk assessment. Includes fields for case number, date, name, gender, age, and abuse types. A detailed table follows with 25 items for assessment, including categories like 'Abuse Status', 'Child', 'Abuse Parent', 'Childcare Status', 'Family Environment', 'Supporter Relationship', and 'Guardian'.

<リスクランク表>

Table for risk ranking. It maps 'Severity' (生命・重度, 中度, 軽度, 虐待危惧) and 'Score' (重, 軽) to 'Risk Level' (A, B, C, D) and 'Support Measures' (e.g., 保護も視野に集中支援実施, 具体的な在宅支援実施).

- Usage instructions for the risk assessment sheet. 1. Check items and mark '該当' (checked), 'やや該当' (partially checked), '非該当' (not checked), or '不明' (unknown). 2. Count items. 3. Determine risk level based on total score. 4. Consider age and body parts for severity. 5. Reserve evaluation for many '不明' items.

旧

リスクアセスメント

(初回

別添4

p9

Form for old risk assessment. Similar to the new version but includes an additional 'Child' category (items 6-10) and a 'Family Environment' category (items 19-22). It also includes a 'Severity Table' and 'Usage Instructions'.

<重症度表>

Severity table mapping 'Severity' (生命・重度, 中度, 軽度, 虐待危惧) to 'Number of Items' (e.g., 8-10, 4-7) and 'Support Measures' (e.g., 一時保護の実施, 具体的な在宅支援実施).

<使用方法や注意点>

- Usage instructions for the old risk assessment sheet. 1. Mark items. 2. Count items. 3. Determine risk level. 4. Reserve evaluation for many '不明' items. 5. Consider age and body parts for severity.